

# F 研究企画・調整・情報システム・出版・広報

## 1. 研究の企画・調整・評価

### (1) 道立農業試験場長会議

#### 1) 第1回場長会議

期日：平成19年6月18日(月) 13:30~17:00

場所：農政部大会議室

議題：

#### ①協議事項

- ・「平成20年度新規課題設定の考え方」について
- ・平成20年度試験研究費(道費)に係る予算編成の考え方について

・平成20年度新規予定課題、継続課題の調整に係るスケジュールについて

- ・技能労務業務の見直しについて

#### ②報告事項

- ・北海道立農試研究成果刊行物について
- ・平成19年度の主な日程について
- ・農政部重点施策について

#### 2) 第2回場長会議

期日：平成19年7月27日(金) 13:30~17:00

場所：農政部大会議室

議題：

#### ①協議事項

- ・育種中止作物の育種家種苗生産・維持について
- ・平成18年度農試機構改正に伴う中止・縮小課題の取扱いについて

・研究基本計画に係るたまねぎの育種目標について

・平成20年度研究課題予算要求に係る調整について

・試験研究機関改革・法人化検討会議への意見反映について

- ・超高額備品の整備計画について

#### ②報告事項

なし

#### 3) 第3回場長会議

期日：平成19年10月1日(月) 13:30~17:30

場所：農政部大会議室

議題：

#### ①協議事項

- ・平成20年度新規要求課題の調整について

- ・農試科長研修の実施について

- ・研究職員の配置と育成のあり方について

#### ②報告事項

- ・独法導入に関する方針(原案)への農政部意見について

- ・技能労務業務の見直しについて

- ・独法化の検討について

- ・新品種育成系統に係る多量の種苗提供に関する実態調査について

- ・平成19年度下期の主要な予定について

#### 4) 第4回場長会議

期日：平成19年12月14日(金) 13:30~17:30

場所：農政部第一中会議室

議題：

#### ①協議事項

- ・各種プロジェクト運営体制について

- ・肉牛研究の方向性について

- ・「上育糯451号」の異型およびうるち混入について

#### ②報告事項

- ・平成20年度新規要求課題の調整結果について

- ・研究課題評価調書の結果について

- ・平成19年度北海道農業試験会議(成績会議)の開催について

- ・道産新品種を食する会(仮称)について

- ・整備予算について

- ・研究成果の学術論文公開状況の調査結果について

#### 5) 第5回場長会議

期日：平成20年3月26日(水) 13:30~17:00

場所：農政部第一中会議室

議題：

#### ①協議事項

- ・道立農業試験場研究調整会議開催規程の改正について
- ・育成系統等の現地試験における種子及び産物の取扱いについて

#### ②報告事項

- ・第21回植物遺伝資源連絡委員会の協議事項について

- ・平成18年度農試機構改正に伴う縮小・中止及び移管予定課題の調整経過について

- ・肉牛研究の方向性について
- ・外部資金（競争的資金）の応募状況について
- ・平成20年度の新規実施課題について
- ・平成20年度農試科長研修の実施について
- ・北海道農業における地球温暖化対応策検討報告書について
- ・地域農業技術センター連絡会議の活動状況について
- ・平成20年度の主な日程について

## (2) 研究調整会議

### 1) 第1回研究調整会議

期日：平成19年4月23日(月)10：00～11：45

場所：中央農試 大会議室

#### ①協議事項

- ・「平成20年度新規課題設定の考え方」について
- ・平成19年度北海道農業試験会議（研究課題検討会議）の開催について
- ・外部資金への応募について

#### ②報告事項

- ・平成20年度試験研究費（道費）に係る予算編成の考え方について
- ・「育種中止作物の育種家種苗生産・維持体制のあり方」検討について
- ・北海道農業試験会議の各部会主査の指定及び副主査の指名について
- ・平成19年度研究職員研修事業に係る派遣者の決定について
- ・国費受託試験に民間共同研究成果を供試する場合の留意点について

### 2) 第2回研究調整会議

期日：平成19年5月28日(月)13：30～16：00

場所：中央農試 大会議室

#### ①協議事項

- ・平成19年度北海道農業試験会議（研究課題検討会議）の運営について
- ・平成20年度新規予定課題、継続課題の調整に係る会議
- ・事務作業について
- ・機構改正に伴う中止・縮小課題の取扱いについて

#### ②報告事項

- ・肉牛研究の方向性について
- ・「平成20年度新規課題設定の考え方」について
- ・課題評価調書の作成について
- ・HaoQ & Aへの対応について

### 3) 第3回研究調整会議

期日：平成19年7月2日(月)10：00～11：00

場所：中央農試 大会議室

#### ①協議事項

- ・育種中止作物の育種家種苗生産・維持について
- ・遺伝資源部の栄養帯遺伝資源の保存管理について

#### ②報告事項

- ・「新たな農林水産政策を推進するための新技術開発事業（仮称）」における政策テーマ提案について
- ・外部資金への応募について

### 4) 第4回研究調整会議

期日：平成19年10月16日(火)13：30～17：00

場所：中央農試 大会議室

#### ①協議事項

- ・北海道農業試験会議（成績会議）の開催について
- ・各種プロジェクト運営体制について

#### ②報告事項

- ・新たな農水省競争的研究資金と農業新技術200Xへの対応について
- ・事後評価・追跡評価の結果について
- ・農試科長研修の実施について
- ・平成19年度中富良野町採種ほにおける水稻「上育糯451号」の異型の発生について（中間報告）
- ・科研費機関指定について
- ・2007アグリビジネス創出フェアについて
- ・平成19年度下期の主要な予定について

### 5) 第5回研究調整会議

期日：平成19年12月3日(月)13：30～17：30

場所：中央農試 大会議室

#### ①協議事項

- ・各種プロジェクト運営体制について
- ・平成19年度設計会議の開催場所について
- ・肉牛研究の方向性について
- ・「上育糯451号」の異型およびうるち混入について

#### ②報告事項

- ・平成20年度新規要求課題の調整結果について
- ・平成20年農業新技術発表会の開催および「普及奨励ならびに指導参考事項」の取り扱いについて
- ・新たな農水省競争的研究資金と農業新技術200Xへの対応について
- ・事前評価・中間評価の結果について

**6) 第6回研究調整会議**

期日：平成20年1月15日(火)13：30～16：30

場所：中央農試 大会議室

①協議事項

- ・ 遺伝子組み換え作物交雑等防止事業に係る平成19年度試験結果の取扱いについて
- ・ 新技術発表会選定結果および道央圏新技術発表会の課題選定について

②報告事項

- ・ 成績会議の開催について（最終確認）
- ・ 「上育糯451号」に係る改善対策について
- ・ 研究成果情報候補の原稿作製について
- ・ 設計会議概要書に係る場別予算負担額について
- ・ 次期特定政策研究の進め方について

**6) 第7回研究調整会議**

期日：平成20年2月29日(金)13：30～17：00

場所：中央農試 大会議室

①協議事項

- ・ 各種プロジェクトの運営状況及び次年度の運営計画について
- ・ 平成19年度成績会議の反省と次年度の対応について
- ・ 育成系統の現地試験に係る種子及び産物の取扱いについて
- ・ 平成20年度農試科長研修の実施について
- ・ 第21回植物遺伝資源連絡委員会における協議及び今後の対応について

②報告事項

- ・ 特定政策応募候補について
- ・ 平成20年度試験研究予算等について
- ・ 外部資金への応募について
- ・ 研究課題評価調書に関する意見・要望について
- ・ 北大農学部と道立農試の連携協定について
- ・ 平成20年度の主な予定について

**(3) 北海道農業試験会議**

1) 研究課題検討会議

○平成20年度新規課題設定の考え方

1 課題設定にあたっての基本方針

本道農業・農村は、農産物価格の低迷するなか、農家戸数の減少や農業従事者の高齢化、「食」の安全・安心や環境問題への対応など、多くの課題に直面している。また、WTO農業交渉をはじめとする農業の国際化が進

展するとともに、国においては品目横断的経営安定対策等の19年度からの導入に向けた準備が進められるなど、農業・農村は大きな転換点を迎えている。

こうした中、試験研究課題の設定にあたっては、「北海道農業・農村ビジョン21」や「北海道食の安全・安心条例」、「道立農業試験場研究基本計画」などに即し、農業生産者、関係機関・団体、消費者などからの研究要望を重視しながら、危機的な状況にある北海道財政のもとで課題の選択と集中をすすめることとし、次の事項を基本方針とする。

(1) 豊かな食生活を支える農業を推進するため、競争力が高く、安全で良質な農畜産物を低コストで安定的に供給する技術や品種の開発を推進する。

(2) 環境と調和した持続的な農業を支援するための技術開発を推進する。

(3) 地域の研究ニーズに対応した農業・農村の振興を支援する技術開発を推進する。

(4) 効率的な試験研究を推進するため、選択と集中の視点を踏まえて継続課題の見直しや新規課題の設定を行うとともに、外部資金の活用を推進する。

2 新規課題の重点項目

(1) 食の安全・安心を支えるクリーン農業技術の高度化と有機農業技術の開発

(2) 高品質な農畜産物の低コスト安定生産に係る技術の開発

(3) 先端技術やバイオマス資源を活用した実用新技術の開発

部会の開催日程及び検討課題数

部 会	日 程	会 場	課題数
総 合	H19.6.6	北方圏センター	10(3) <sup>**</sup>
作物開発	H19.6.4～5	北方圏センター	22(6)
花・野菜	H19.6.7～8	プレスト 1.7.	15(13)
畜 産	H19.6.4～5	赤レンガ	26(16)
農業環境	H19.6.4～5	かでの/水産ビル	14(9)
グリーン農業	H19.6.7～8	かでの 2.7.	17(6)
生産システム	H19.6.7～8	第二水産ビル	15(7)
農産工学	H19.6.7	かでの 2.7.	3(3)

※括弧内の数値は、検討課題数の内、新規課題数である。

2) 成績会議

各部会に提出され検討した課題について、総括会議で

新農業技術として判定された結果は次のとおりであった。

		普及 奨励	普及 推進	指導 参考	研究 参考	行政 参考	保留 成績	完了 成績	合 計
作物 開発	計	4	3	28	2	0	1	0	38
	(品種)	(4)	(3)	(0)	(0)	(0)	(1)	(0)	(8)
花・ 野菜	計	3	6	19	1	0	0	0	29
	(品種)	(3)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(3)
畜 産	計	3	5	25	7	0	0	0	40
	(品種)	(3)	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(4)
農業 環境	計	0	4	8	1	0	0	0	13
	(品種)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
クリーン 農業	計	1	4	94	0	0	0	0	99
	(品種)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
生産 システム	計	0	6	86	2	0	0	0	94
	(品種)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
農産 工学	計	0	1	0	6	0	0	0	7
	(品種)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
総 合	計	0	0	4	0	0	0	0	4
	(品種)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
計	計	11	29	264	19	0	1	0	324
	(品種)	(10)	(4)	(0)	(0)	(0)	(1)	(0)	(15)

### 3) 設計会議

北海道における農業関係試験研究機関が行う試験研究課題について、平成 20 年度の設計を決定するための専門部会を平成 20 年 3 月 3 日～3 月 7 日にわたり開催した(てん菜分科会は 2 月 25 日、総合部会は 3 月 14 日)。各部会に提出された検討課題数は、次のとおりであった。

部会	分科会	課題数
作物開発	稲	48
	豆類	72
	てんさい	33
	麦類・特用作物	82
	ばれいしょ・果樹	82
花・野菜		107
畜 産	畜産総合	34
	家畜育種・飼養・管理	36
	家畜衛生・バイオテック	29
	草地(品種・栽培)	67
農業環境		148
クリーン農業		40
生産システム		92
農産工学		54
総 合		23
合 計		947

### (4) 地域農業技術センター連絡会議

#### 1) 平成20年度地域農業技術センター連絡会議定期総会

日 時：平成 20 年 2 月 19 日 13:00～13:50  
場 所：かでの 2・7 1050 会議室

出席者：28 名

- 議 事：・平成 19 年度事業実績及び収支予算  
・平成 20 年度事業計画及び収支予算(案)  
・役員改選  
・報告事項(ブロック会議)

#### 2) 平成20年度地域農業技術センター連絡会議研究交流会

日 時：平成 20 年 2 月 19 日 13:50～17:00

場 所：かでの 2・7 1050 会議室

出席者：45 名

内 容

- ・話題提供

「水田・畑作経営所得安定対策の背景と展望について」  
北海道武蔵女子短期大学 准教授 松木 靖 氏

「品目横断的経営安定対策の見直しについて」  
北海道農政部農業経営局農業経営課経営企画グループ  
主査 鈴木 透

「土壌診断のための簡易分析法(最新の研究成果の紹介)」  
北海道立中央農業試験場 生産環境部 栽培環境科長  
小野寺 政行

- ・ディスカッション

「地域農業技術センターの活動強化について」  
(進行) 中央農業試験場企画情報室長 品田裕二

#### 3) 平成19年度地域農業技術センター研究情報交換会

日 時：平成 19 年 9 月 6 日 13:30～9 月 7 日 12:00

場 所：旭川市農業センターほか

出席者：68 名

内 容

- ・地域農業技術センターの活動報告等

旭川市農業センター 事業係長 岡本 秀雄  
名寄市農業振興センター 技師 川島 史泰  
幌加内町農業技術センター 次長 加藤 義雄

- ・話題提供

「旭川青果連におけるクリーン農業の取組み」  
旭川市青果物生産出荷協議会会長(農業者) 川西 忠一  
「農業者と食品加工業者との連携のあり方について」

株式会社 香貴 生産部長 河原 勝  
「旭川におけるクリーン農産物の生産と流通等」

上川農業改良普及センター本所 主査 中野 敏行

「NATECと地域農業技術支援会議」

上川農業試験場 技術普及部長 岩田 俊昭

- ・旭川市農業センター視察

- ・現地視察

「旭川におけるクリーン農産物の安定生産に向けた取組」  
川西農場（旭川市）

「旭川青果連におけるクリーンな野菜産地形成の取組」  
ピーマン・トマト共選施設（JA東旭川）

「省力化を徹底した最新のきゅうり共選施設と高品質で  
均一な菊自動選花施設」

きゅうり・菊共選施設（JA当麻町）

#### 4) 平成19年度地域農業技術センター連絡会議活動

花き部会・19年度現地研修会

日 時：平成19年9月13日～14日

場 所：深川市、秩父別町、留萌市、小平町

出席者：20名

内 容：花き農家視察研修及び情報交換

## 2. 情報システムの活用

### (1) 北海道農業情報ネットワークシステム(Hao)の 管理・運営

#### 1) 利用状況

平成19年度末時点でのHao登録ユーザー数は、個人518、業務880、合計1398となっている。

#### 2) 電子メールの利用

平均月間利用数は、194千通で、前年度と比べて61%増加した。

統計上の平均月間利用数は、約26万件で、前年より38%増加しているが、これは、迷惑メールの増加によるものと考えられる。なお、迷惑メールについては20年3月から対策をとっており、当月の利用は15万件であった。

#### 3) ホームページの作成

Haoは、北海道農政部、農業試験場、農業改良普及センター、家畜保健衛生所、農業大学校などのページから構成され、総掲載数は6万以上となっている。

ホームページ全体への月平均のアクセス数は429万件であるが、検索サイトからのチェックの増加が多く含まれると考えられ、一般からのアクセスは実質2百万件程度と推定される。

#### 4) システムの更新

15年度に整備したシステムが老朽化したため、19年7月に新たなシステムに更新し、機能、容量等の向上を図った。

#### 5) 問い合わせへの対応

Q&Aボードへの34件の質問と電子メール等による13件の質問に対して回答した。

### (2) 営農指導支援システムの整備開発

本年は、「水稻の葉いもち病予測プログラム」を開発した。

また、遺伝資源部が有する28,000点の遺伝資源情報を効率的に管理するための「道立農業試験場植物遺伝資源データベース検索システム」の機能追加を行った。

### (3) 中央農試ホームページの作成・更新について

入札情報や公開データ情報など、広く道民に対して場の業務等の情報公開を行ったほか、各部にあっても適時ページを更新し、研究成果の情報発信に努めた。

## 3. 図書・資料

### (1) 受入状況

(冊)			
資料名	購入	寄贈	合計
単行本(国内)	7	100	107
単行本(外国)	-	3	3
逐次刊行物(国内)	94	476	570
逐次刊行物(外国)	58	16	74

CD-ROM等電子媒体含む

### (2) 資料提供

室外貸出	
場内	場外
529	0

### (3) 製本

外注製本		自家製本
国内資料	外国資料	26
59	53	

### (4) 図書資料購入費

(千円)					
単行本	国内逐次刊行物	外国逐次刊行物	製本	消耗品	計
-	941	4,383	214	58	5,596

ただし、各部で別途購入分は除く。

#### 4. 印刷刊行物

資 料 名	発行年月	頁 数	部 数
北海道農業試験会議議事概要 設計会議 平成19年度	19. 6	172	230
北海道立中央農業試験場年報 平成18年度	19. 7	130	160
北海道立中央農業試験場事業実施計画書 平成19年度	19. 7	65	180
北海道立農業試験場新規課題実施計画書 平成19年度	19. 8	279	300
北海道立農業試験場集報 第91号	19.10	93	450
平成20年農業新技術発表会要旨(第26回)	20. 2	39	700
平成20年道央圏農業新技術発表会、花・野菜新技術セミナー2008 要旨	20. 2	42	500
北海道農業試験会議議事概要 成績会議 平成19年度	20. 3	88	230

#### 5. 広報活動

研究職員 後藤 英次

##### (1) 平成19年度中央農試公開デー

テーマ「今、見つめなおす。私たちの食と農業。」

日 時：平成19年8月9日 9:30～15:00

場 所：中央農試庁舎、果樹園、畑

主 催：中央農試

後 援：岩見沢市、南幌町、由仁町、長沼町、栗山町、JA

いわみざわ、JA なんぼろ、JA 由仁町、JA ながぬま、JA

くりやま、南空知広域農協連

協 力：空知農業改良普及センター

来場者：668名（うち農業者54名）

内 容：

- ・水田を中心としたピオトープ体験
- ・土で絵を描こうコーナー
- ・もち米の不思議コーナー
- ・試食コーナー（ななつぼしのご飯、ご汁等）
- ・スタンプラリー
- ・食育体験コーナー
- ・遺伝資源体験コーナー
- ・畑、果樹園見学
- ・夏休み☆おもしろ公開実験室（研究室公開）
- ・なんでも相談（土壌・病害虫の診断等）
- ・地元農産物・加工品の展示即売会

##### (2) 平成20年道央圏農業新技術発表会

日 時：平成20年2月26日 10:00～16:00

場 所：たきかわ文化センター

主 催：中央農試、花・野菜技術センター

後 援：滝川市、たきかわ農業協同組合、空知支庁

出席者：285名（うち農業者89名）

発表課題：

- 「おぼろづき」の美味しい作り方～美味しいお米を、より美味しく作るために～

中央農業試験場 生産研究部 水田・転作科

- もう一度見直してみよう！秋まき小麦栽培

～収量・品質を高めるために～

中央農業試験場 生産研究部 水田・転作科

研究職員 杉川 陽一

- シードテープで大豆畑の線虫をらくらく診断

中央農業試験場 作物研究部

畑作科長 田中 義則

- 粘る！やわらかい！本州ブランドに並ぶ極良食味米「上育453号」

中央農業試験場 作物研究部

水田・転作科長 田中 一生

- 風味にすぐれる大納言あずき「十育154号」

中央農業試験場 作物研究部 畑作科

研究職員 鴻坂 扶美子

- おいしいパン・めんを目指して ～新しい道産小麦品種「はるきらり」「きたほなみ」の育て方～

中央農業試験場 生産環境部

栽培環境科長 小野寺 政行

- 北海道に向く ぶどうと西洋なし

中央農業試験場 作物研究部 果樹科

研究職員 内田 哲嗣

- 地域の核となる農業生産法人への技術支援（南幌町）

空知農業改良普及センター空知南西部支所

地域第二係長 藤田 雅久

- 秋のトルコギキョウは光できまる！

花・野菜技術センター 研究部

花き科長 鈴木 亮子

- 作ってみよう！あじさいの仲間「みなづき」

花・野菜技術センター 研究部 花き科

研究職員 高濱 雅幹

- 鮮度保持剤で花持ちアップ!

花・野菜技術センター 研究部 花き科  
研究職員 黒島 学

- 高級感がある赤肉メロン「空知交16号」と病気に強くて接ぎやすい台木「空知台交6号」

花・野菜技術センター 研究部 野菜科  
研究職員 八木 亮治

- ホワイトアスパラガスの新しい作り方

花・野菜技術センター 研究部 野菜科  
研究職員 地子 立

- セル苗定植かぼちゃ安定生産

花・野菜技術センター 研究部  
野菜科長 田中 静幸

- まさかりかぼちゃと札幌大球キャベツの特性

花・野菜技術センター 研究部 野菜科  
研究職員 大久保 進一

- 加工用ほうれんそうの露地栽培技術

花・野菜技術センター 研究部 野菜科  
研究職員 大久保 進一

- 畑をよく見て「たまねぎ減農薬」

～病気や害虫の簡便な観察法～

中央農業試験場 生産環境部 予察科  
研究職員 新村 昭憲

- アスパラガスの病気や害虫を防ぎましょう

花・野菜技術センター 研究部 病虫科  
研究職員 小松 勉

- 天敵や微生物を使ったハウスピーマンの病害虫対策

花・野菜技術センター 研究部 病虫科  
研究職員 西脇 由恵

### (3) 科学技術週間セミナー in 北海道

日時：平成19年4月19日 13:00～16:40

場所：京王プラザホテル札幌 プラザホール

主催：独立行政法人 科学技術振興機構、北海道

協力：北海道大学、札幌医科大学、(財)函館地域産業振興財団、(財)十勝圏振興機構

事例発表：道立試験研究機関研究成果

「豆類の機能性と品種改良」

十勝農業試験場 生産研究部 主任研究員 加藤 淳  
ポスターセッション・試食会

- ・とにかく粒が大きい大豆新品種「中育53号」

- ・早生・耐冷性・耐病性の普通小豆「きたろまん」
- ・小豆のポリフェノール成分と抗酸化活性の変動要因
- ・小豆の生理調節機能の解析
- ・イソフラボン豊富なだいず品種「ゆきぴりか」

### (4) サイエンスパーク2007

日時：平成19年7月31日 10:00～17:00

場所：サッポロファクトリー

主催：独立行政法人科学技術振興機構、北海道

参加機関：北海道立中央農業試験場、北海道立上川農業試験場、北海道立畜産試験場、北海道立花・野菜技術センター、サッポロビール株式会社、北海道ガス株式会社、北海道電力株式会社、北海道原子力環境センターほか

後援：札幌市、札幌市教育委員会

参加者：7,700名

展示コーナー

- ・イネを観察してみよう
- ・お米ができるまで（水稻の栽培作業）
- ・ごはんとお米をしろう
- ・田んぼの生きものたち

体験コーナー

- ・いなほが米に変身（だっこく体験）

### (5) アグリビジネス創出フェア in Hokkaido

日時：平成19年12月7日10:00～12月8日17:30

場所：サッポロファクトリーホール他

主催：NPO法人 グリーンテクノバンク

共催：北海道農業研究センター、生物系特定産業技術研究センター、農林水産技術会議事務局

後援：北海道開発局、北海道、北海道大学、帯広畜産大学、酪農学園大学、東京農業大学、北海道東海大学、藤女子大学、他

参加者：1,550名

技術・パネル展示、試食、ショートプレゼンテーション

- ・道立農業試験場の紹介
- ・道立農試における各種用途米の開発
- ・道立農試における小麦新品種の開発
- ・道産豆類の特長と道立農試で開発した新品種
- ・北海道で栽培されるりんご品種
- ・北海道産の美味しい地鶏を食卓へ
- ・「さやあかね」を使ったばれいしょの有機栽培
- ・バイオマス利活用に向けた試験研究
- ・グリーンツーリズムの広がりとその効果

### (6) 平成20年度産新品種を食す会

～新品種を農家のおかみさんの手料理で食べよう！！～

日時：平成20年2月20日 18:30～20:00

場 所：北海道厚生年金会館（ウェルシティ札幌）  
主 催：道産新品種を食す会実行委員会  
構成～グリーンテクノバンク、北海道農業協同  
組合中央会、北海道農業研究センター、ホクレン、(財)  
北農会、北海道  
協 賛：北海道米麦改良協会、北海道豆類価格安定基金  
協会、北海道青果物価格安定基金協会  
出席者：133名  
提供品種：うるち米「上育453号」、もち米「しろく  
まもち」、酒米「彗星」、小麦「きたほなみ」・「はるきら  
り」、大豆「タマフクラ」・「ゆきぴりか」、小豆「十育  
154号」、たまねぎ「早次郎」、北海地鶏Ⅱほか  
品種紹介：中央農試企画情報室長 品田 裕二

- ・北海道米の年次別収量推移
- ・良食味品種の開発
- ・酒米品種の開発
- ・豆類のDNA品種判別
- ・クリーン農業技術  
展示（品種等）
- ・水稻品種ポット及び玄米等（赤毛、きらら397、ほ  
しのゆめ、ななつぼし）
- ・道産酒米（吟風・彗星）を使用したお酒等
- ・小豆・手亡（いんげん）品種とDNA増幅装置等
- ・YES! clean農産物（トマト、ピーマン、ほう  
れんそう、米、小豆等）

## 6. 場内研修

趣 旨：中央農試研究職員の資質向上を図るため、  
講師を依頼し、講演会を開催する。

日 時：平成20年3月26日 15:30 ～ 17:00

場 所：中央農業試験場大会議室

主 催：中央農試

出席者：20名

1 演 題：「北海道北部重粘土草地の牧草生産性に対  
する低水分ストレスの影響評価に関する研究」

講 師：中央農試環境保全部 土壤生態科長  
農学博士 中辻敏朗

2 演 題：乳牛ふん尿処理物の肥効評価に基づくチモ  
シー草地の施肥法に関する研究」

講 師：中央農試企画情報室 企画調整課  
農学博士 松本武彦

## 7. 第58回全国植樹祭及び地方事情御視察 (天皇皇后両陛下下行幸啓)

日 時：平成19年6月25日

場 所：中央農業試験場 記念館、本庁舎

対応者：場長 下小路 英男

作物研究部長 新橋 登

基盤研究部長 田中 民夫

生産環境部長 中尾 弘志 ほか

展示（パネル）

- ・北海道立農業試験場の沿革
- ・北海道農業を支える8つの北海道立農業試験場